

## 審議会等の会議結果報告書

【担当課】文化財課（八ヶ岳総合博物館）

会議の名称	茅野市博物館協議会		
開催日時	平成30年6月27日（水） 午後1時26分～3時5分		
開催場所	八ヶ岳総合博物館 閲覧室		
出席者	沖野外輝夫委員長、小口隆秀副委員長、柄澤俊彦委員、市川純章委員、 根橋良紀委員、伊藤彰敏委員、小野崎千恵子委員、小平一次委員、 大勝弘子委員、西本綾子委員 平出信次生涯学習部長、両角勝元文化財課長、守矢昌文尖石縄文考古館 長、若宮崇令八ヶ岳総合博物館長、田村健神長官守矢史料館長、小池岳史 考古館係長、両角英彦博物館係長、柳川英司古文書担当、渡辺真由子博物 館係主査		
欠席者	武居三男委員 山田利幸教育長		
公開・非公開の別	(公開)・非公開	傍聴者の数	0人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容（概要）		
平出生涯学習部長	<p>○ 議事</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 新任委員の任命</li> <li>3 教育長あいさつ</li> <li>4 委員の自己紹介</li> <li>5 職員の自己紹介</li> <li>6 茅野市博物館協議会の役割について</li> <li>7 協議事項                         <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 審議会等の会議の公開について</li> <li>(2) 各館 平成30年度事業計画について</li> <li>(3) その他</li> </ol> </li> <li>8 閉会</li> </ol> <p>○ 会議録</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会（両角文化財課長）</li> <li>2 新任委員の任命 平出生涯学習部長から柄澤委員に任命書が渡された。</li> <li>3 教育長あいさつ（代理 平出生涯学習部長） 八ヶ岳総合博物館については、昨年度から、開館30周年という企画に向けてご審議をいただき、4月から、各種記念事業を行っていて、マスコミにかなり紹介されている。広く親しまれる博物館を目指して職員も頑張っている。皆様方も知恵を出し、博物館を盛り上げていただきたい。 6月議会で、八ヶ岳総合博物館の養川コーナーや市民研究員の活躍の場の充実などについての一般質問があった。このような機会に博物館も</li> </ol>		

	<p>注目されるし、博物館の充実を市民の皆さんも意識していただけると考える。</p> <p>今後、10月のメインイベントに向けて、多くの皆さんに来館していただけるよう努めていきたい。</p> <p>中教審で、博物館を観光面にシフトしてはということが話題になっている。博物館は、教育委員会所管だが、観光立国ということから、市長部局に移行して、観光スポットとして活用してはどうかという議論がされている。今後、注視していきたい。</p> <p>学芸員が研究、資料を収集する場ということがベースにあって、その成果として発表、展示を行っている。発表、展示がメインになって、ベースになるべきところが置き去りになるというのは首を傾<sup>かし</sup>げてしまう。国の動向を見ながら、茅野市の方向を考えていきたい。</p> <p>本日は、ご審議をよろしくお願ひしたい。</p> <p>4 委員の自己紹介</p> <p>5 職員の自己紹介</p> <p>6 茅野市博物館協議会の役割について (両角博物館係長が説明)</p> <p>7 協議事項</p> <p>(1) 審議会等の会議の公開について (両角博物館係長が説明)</p> <p>本日の会議及び会議録は、公開することに決まった。</p> <p>(2) 各館 平成30年度事業計画について</p> <p>それでは、各館 平成30年度の事業計画について説明してください。 最初に、尖石縄文考古館、お願いします。</p> <p>(守矢尖石縄文考古館長が説明)</p> <p>市川委員 縄文教室、「国宝『土偶』を作ってみよう」、ビーナスの方は定員10名がもう埋まったということだった。全国から応募があるということだが、どのようにPRしているか。</p> <p>守矢尖石縄文考古館長 広報、ホームページで募集をしている。</p> <p>市川委員 茅野市に来て初めて知ったということか。それとも、全然ゆかりがなく見つけるとということか。</p>
--	---

守矢尖石縄文考古館長	この教室は何回も開催しており、リピーターがあり、申込みの競争倍率が高い。手取り足取り、実物に近いものをつくるということが広まっているようだ。
市川委員	仮面の女神の方はどうか。
守矢尖石縄文考古館長	複雑な作業があり、3日間の教室となっている。遠方の方は、宿泊を伴うこともあり、講座が埋まりにくい。
小口副委員長	2つの国宝の貸出しはあるか。
守矢尖石縄文考古館長	昨年は京都国立博物館の国宝展に土偶を貸し出した。文化庁が定める年間の貸出し日数の基準がある。可能な範囲で行っている。
沖野委員長	次に、八ヶ岳総合博物館、お願いします。  (若宮八ヶ岳総合博物館長が説明)
市川委員	30周年記念事業の <sup>こて</sup> 鍔絵作りだが、以前LCVの特集を見て、不思議な特殊なものだと思った。駅前には天香館があり、市内には蔵が多いし、固有の文化なのか。価値があるのだったら、総合博物館で伝承の対象として扱ってほしい。
平出生涯学習部長	蔵は、米などを保存するもので、農家にとっては自分が長年働いてきたステータスといえる。そこに、龍などの鍔絵を描くという美術的なものが加わる文化ができた。
柳川古文書担当	鍔絵は江戸末期に伊豆の長八という人が彫刻的に描くことを始めた。水、龍、屋号などが一般的で、美術的な要素を持ち込んだ。 その弟子が広めて、長野県では、八ヶ岳山麓地帯が顕著である。その代表が小川天香。諏訪地域では、岡谷、諏訪には、ほとんどない。非常に貴重な文化である。
市川委員	LCVの特集は、美術的価値や特殊性まで掘り下げてなく、ありふれたことなのか特別なことなのかに触れていなかったの、そこを聞いたかった。
沖野委員長	地域独特の芸術、美術ということで、何かあるか。
伊藤委員	前の美術館では、小川天香さんの作品は、鍔絵に限らず、かなり大きい作品が飾られていた。子息が天香館を建てたので、その点では茅野特有のものと思う。

市川委員	QRコードの利用状況、コンテンツの作成はどうしているか。
渡辺主査	<p>QRコードについては、広報ちのやフェイスブックに掲載して、こういうことをやっているということを知らせている段階である。全国的に先進的な取組で、フェイスブックを見た人からの反響がある。</p> <p>コンテンツの作成については、利用者が幅広いので、工夫の余地がある。</p>
市川委員	<p>こういうことには大学の学生が知恵を出せると思う。</p> <p>また、動画コンテンツだと高校生もいい。高校生プログラミングコンテストにコンテンツ作成部門があって、プロ顔負けである。こういうことと連携すると、話題性もあってよいと思う。</p>
沖野委員長	<p>次に、神長官守矢史料館、お願いします。</p> <p>(田村神長官守矢史料館長が説明)</p>
市川委員	<p>事業報告の中では来館者数の実績を上げているが、事業計画の中ではその数字をどのようにして伸ばすかというものが無い。</p> <p>どういう施設なのかアピールするようなことを事業計画に上げてはどうか。</p>
田村神長官守矢史料館長	<p>来館者は年々増加していて、昨年が普通の年で一番来館者が多かったが、今日現在で、今年それをオーバーしている。</p> <p>職員が、個々の来館者に解説している。そういう人間的な関わりの中で、大勢来ていただいていると考える。遠方からのリピーターも増えている。藤森建築ということも有名になって、外国からも大勢来ている。</p>
柳川古文書担当	<p>今年は計画していないが、去年までは守矢史料館とその周辺の史跡案内を行っていた。浸透しており、来館者は増えている。</p>
市川委員	<p>茅野どんぼんの実行委員をやっている。茅野市民が茅野市を知る日、まちじゅう茅野どんぼんということを計画している。いろいろな所がばらばらに祭りをやるのではなく、まちじゅうで茅野どんぼんをやっているという相乗り企画を考えている。</p> <p>ワークラボ八ヶ岳、ゆいわーく茅野や博物館に声をかけ、市民活動の紹介とか、知られていないことを市民に宣伝する日としたい。</p> <p>例えば、史料館では、どんぼんの日から「幕末の諏訪」という企画展を開催すると相乗りして宣伝するとか、知らせるものがないかと考えている。あれば教えてほしい。</p>
小口副委員長	<p>これだけの企画をどうやって周知するかということがある。</p> <p>例えば、東海高校では、隣の運動公園でリスの観察会をやっているとい</p>

小野崎委員	<p>うことを知り、リスの課題研究をしている生徒のグループが勉強させてもらったということがある。</p> <p>知らなかったら、そういうことにならなかったと思ひ返した。どうやって周知するかということは課題だと思ふ。</p> <p>各館の行事は、守矢史料館以外は子ども主体のもので、なかなか足が向かないということがある。市内で展示会などがあると、いろいろな所へ出かけてきたが、この頃は遠のいていることを思うと、マンネリ化しているのではと思ふ。私たちが参加できるようなものをつくってもらえたらと思ふ。</p> <p>県外からも茅野市に興味をもって来ているということなので、いい傾向だと思ふ。</p> <p>子どもの見守りをしている。金沢地区だが、いろいろな事件が立て続けにあった。ひったくりがあり、この事件で、心に負担を受けて倒れてしまう子どもがいたと聞いた。</p> <p>博物館などで災害や事故が起きたときの対応は考えているか。</p>
沖野委員長	<p>総合博物館では、そういう対策をとっているか。</p>
若宮八ヶ岳総合博物館長	<p>災害時には、ここが避難所になる。</p> <p>事故があったときの対策としては、避難訓練を行っている。</p>
沖野委員長	<p>尖石縄文考古館はどうか。</p>
守矢尖石縄文考古館長	<p>法定の火災、地震等の避難訓練を行っている。昨日報道にあったような不審者対策までは行っていない。</p> <p>茅野防犯協会の美術館・博物館部会で研修を受けている。警察に、見回り強化をお願いしている。</p>
根橋委員	<p>各館の行事は、広報ちのに掲載されている。以前に比べ、PRがよくなっている。参加につながればいいと思ふ。</p>
沖野委員長	<p>広報関係は、前から意見が出されている。PRしているが、見てもらえていないことが多いということがある。</p>
伊藤委員	<p>広報ちのは、情報がたくさんあって見過ごしてしまう。</p> <p>広報には、公民館報が挟まれている。博物館も3館一緒にしたものをつくってはどうか。目につきやすいではないか。</p>
平出生涯学習部長	<p>広報は、茅野市全体で考えている。そうすると、他の施設もということになる。それぞれで出すと経費的にかかるなどのことがあり、まとめて広報に掲載している。知ってもらわないと、来てもらえないので、うまく広報していきたい。</p> <p>今は、紙よりも、インターネットなどで広報していくことが主流になっ</p>

沖野委員長	<p>ている。茅野市もそうなっている。年齢の高い方は、苦手な方が多い。広報で特集を組んだり、各館が来館者に互いの情報を提供するよう連携していきたい。</p> <p>(3) その他</p> <p>それでは、最後に、(3) その他をお願いします。</p> <p>(配布資料の「茅野市社会教育推進計画」と「茅野市生涯学習推進指針」について、両角博物館係長が説明)</p> <p>8 閉会 (両角文化財課長)</p>
-------	--